



竹内 功 鳥取市長

Isao Takeuchi

地域の活性化へ



流をさらに広げていくことはすばらしいことです。今の話を伺って大きな期待が持てました。また、鳥取県も日韓交流に力を入れておられますので、県とも連携を取りながら進めて行きたいと思います。

市長 これから、「鳥取市の地域づくり」「地域の活性化」のために、「初動負荷トレーニング」という言葉を使わせていただき「初動負荷トレー

ニングのまち鳥取」と宣言させていただいています。このような鳥取市の姿勢や、取り組みに對しまして、小山先生の思いをお伺いしたいと思います。

小山先生 今まで市民や県民のみなさまに、十分に還元することができなかった部分が多々あったと思います。私たちも十分に人材育成など行いながら市民のみなさんや、県民のみなさんと一緒になって取り組み、心と体がゆったりする中で、大きな視野で物事が考えることができ、活動できるまちななればと。そこに私は、夢を馳せています。

市長 「初動負荷トレーニング」では、やればやるほど、体の中の代謝もよくなり、楽しくトレーニングができる。聞いていますので、微笑みのトレーニングというような感じを抱いています。このトレーニングが、まちに広がり、みんなの表情が明るくて、さわやかなまちにしていくことが、結局、地域の活性化につながるかと信じています。市民

のみなさんに十分な理解をいただきながら、「初動負荷トレーニング」というものを身に付けていただき、また、情報発信し、それがまた地域間の交流につながるようにしていきたいと思っています。引き続き鳥取を拠点に鳥取発で全世界へ幅広く活躍いただきたいと思います。

出会わせて頂きましたし、自身でも幸せだなあと思うところがたくさんございます。そういう輪が広がってほしいので、微力ですが、みなさんと一緒に活動させていただければと思っています。

市長 どうも今日は、ありがとうございました。

小山先生 ありがとうございます。

この対談の様子は、四月四日(日)～八日(木)午後二時三十分から午後七時三十分「いなばぴよんぴよんネット」で放送します。

